

一奉仕當番 西山村 兄、鶴 井 姉兄

日曜禮拜次第 十時十五分

説教 「基督の使命」

本田牧師

奏樂 (靜思) 畑とみみ姉

國民儀禮 五六六

使徒信經 五九四

主の祈禱 二五三 (起立の儘)

讚美歌 二五三

交誦文 一五

讚美歌 五八七

聖書 一五 (ヘブル書九ノ一一一二)

讚美歌 二五五

讚美歌 三二五

獻金 (着席の儘)

告誡 五八八

頌讚 五八八

後祝 五八八

本田牧師

禮拜當番

本田牧師

日本基督教團 廣島流川教會 禮拜の菜

【彙報】

◆金屬回收運動に協力しませう◆

御覽の通り當教會は供出しうる凡ての金屬を供出致しました。當分不自由でもあり、見たところも見苦しいものがありませう、しかし榮光の日を迎ゆるまで一切の事を忍びませう、各家庭においてもこの際進んで供出し、率先垂範の實を表はしませう。

なほ二月十七日には當教會にて、中國各教會の貯蓄運動の大會が開かれる豫定です。

我等は國民運動の前線に堂々の歩みをなして衆を導き度いものであります。

◆昭和十八年の標語

「汝の内に得たる神の賜物をますます熾にせよ」 テモテ後書一章六節

一月婦人會當番 古賀姉、鶴姉

本、日 禮拜當番 林兄、光井兄 龜高姉、高橋姉 松下兄 横山姉

今夕の傳道會 【於小講堂】 午後七時半

傳道説教



「簡易基督教々理」 本田牧師 分り易い基督教の教理を中心とした説教、信徒も求道者も御出席下さい。 讚美歌指導 新田光子姉

今週の集會

◆聖戰完遂祈禱會

二月三日(水) 午後七時半 於小講堂

◆家庭會

二月四日(木) 千原町 吉村クニ子姉宅 二月六日(土) 中島本町 小泉稻子姉宅

◆前週回顧

禮拜「キリストのなやみの 松本院院長 男 女 計 欠けたるを補ふ」 林長老 四 三 六 一 〇 〇 家庭祈禱會 坂出兄宅 四 三 五 一 九 〇 家庭會 (一) 禮拜獻金 四圓參拾七錢

◆次週瞻望

七日禮拜 長谷川初音先生に交際中 夕拜 東部教會にて大講奉戴記念會を各教會聯合にて開きます。

皇紀二六〇三年 昭和十八年 一月廿一日發行 廣島市上流川町 牧師館 續町一三四(電話六〇〇) 面接日 毎火曜日終日 於牧師館

【教友消息】

- ◆仁木 巖兄 休暇を得て郷里にかへられ來月早々吳にて華燭の典をあげられる由、御目出度う。 ◆本田牧師 松山夜間中學及東雲高等女學校を應援 廿五日返歸任さる。 ◆高木俊一郎兄 ○○に滞在中黒夫人に面會され奇遇を感謝したとの便りありたり、武運長久を祈る。 ◆龜高 兄 前線より無事との便りありたりと、武運長久を祈る。 ◆内田竹代姉 過日來療養中のところ、幾分快方に向はる。 乞御加禱。

【流れのほとり】

松山に旅して二つの印象を得た。 「山路越へて」の作歌者西村清雄先生と共にあの歌をうたつた事と、二十数年前一緒に寄宿舎に生活した一友人の子供にあつた事である。 書けばそれだけであるが、何れも無量の感慨を禁じ得なかつた。 生命あるものは亡びない。そして生命あるものは成長する。あの歌は今後永く歌はれ、あの友人の子は將來の日本を背負ふだらう。無量の感慨の中からこんな事があとに残つた。

來週 禮拜當番 西村兄、鶴兄 古賀姉、吉村姉 柳原兄 柴山(禮)姉

▽牧師 本田正一